

山川校区の 文化財マップ



山川前田遺跡で発見された水縄断層

久留米市教育委員会

■ 山川校区の歴史

山川校区は高良山と筑後川に挟まれ、高良山と筑後川が最も接近した場所にあります。校区は山川町と太郎原町にまたがり、東部土地区画整理事業によって旧山川町の北部は昭和62年に町名変更され、現在に至っています。

山川校区では、筑後川に近い微高地^{びこうち}の安国寺遺跡や野口遺跡で約2万年前の旧石器が出土しており、旧石器人たちの狩場^{かりば}だった様子が浮かびます。縄文時代には、安国寺遺跡と野口遺跡で大量の縄文土器や石器が出土します。約1万年前の早期から約3000年前の晩期まで、くり返し営まれた縄文人の生活の痕跡^{かいま}が垣間見えます。

弥生時代になると、筑後川に近い微高地上に安国寺甕棺墓群が営まれ、新婦遺跡^{しんぼ}や山川南本村遺跡などの集落が高良山北麓の斜面にみられます。墓地と集落との間に位置する大島遺跡^{うつしま}では、銅剣が出土したと伝わっています。この銅剣は残念ながら現存しませんが、大陸の青銅器文化が山川校区にも及んでいたことがわかります。

高良山の北麓には多くの古墳が築られました。山川校区の東に位置する山本町や草野町、田丸丸町には多数の古墳が分布しますが、山川校区の古墳で調査が行われたことがあるのは七曲山古墳群のみで、その他の古墳について詳しいことは分かっていません。同じ時代の集落は新婦遺跡や太郎原遺跡で見つかり、集落が川沿いにも広がりはじめます。

古代には、神籠石式山城である高良山神籠石が築かれ、現在も石列の一部が残ります。高良山北麓には、『日本書紀』に記された筑紫大地震（678年）の震源になったと考えられる水縄断層^{みのう やますそ}が山裾を横断しています。水縄断層は、いくつかの断層が集まった断層帯で、山川前田遺跡から水縄断層の一部である追分断層が発見されました。現在、国の天然記念物に指定され、保存されています。

鎌倉時代には、筑後川の渡河施設である「神代の浮橋」^{くましる うきはし}が『絹本著色観興寺縁起』^{けんぼんちやくしやくかんこうしえんぎ}に描かれ、浮橋を管理していた神代氏の屋敷があったようです。室町時代には、安国寺が創建され、高良山中に古宝殿城や鶴ヶ城、吉見岳城といった山城が築られました。

校区の北東部一帯には、古代の条里制に由来する地割が残り、御井郡と山本郡の境界線が推定されています。その境界線と日田へ通じる山辺の道^{やまのべ}との交差点^{げんろく}に、元禄8年（1695）、郡界標^{ぐんかいひょう}が設置され、今も同じ場所に残っています。

山川校区には、これらの遺跡や文化財のほかにも、神社や祠、石碑、石像が数多く残っています。この地図を片手に校区散策はいかがでしょうか？

■ 山川校区の文化財

	遺跡の名前	遺跡の時代	こんな遺跡です
1	あんごくじ 安国寺遺跡	旧石器時代 ～平安時代	旧石器や縄文時代早期の集石遺構、弥生時代後期の竪穴住居、平安時代の土壇墓が確認されています。
2	くましる 神代遺跡 (神代氏館跡)	中世	中世に神代の渡しを管理した、神代氏の館の跡だと考えられています。
3	まつがもと 松ヶ本遺跡	中世	神代氏館跡に伴うとみられる杭列を発見しました。
4	かわぞこ 神代川底遺跡	弥生～中世	弥生土器や土師器、瓦器などが採集された水中遺跡です。
5	神代の渡し跡	中世～近代	大正時代まで渡し舟があった場所です。
6	かひりやしき 渡屋敷遺跡	中世	神代の渡しを管理した屋敷があったとされています。
7	のぐち 野口遺跡	旧石器時代 ～縄文時代 鎌倉時代	旧石器から縄文時代後期の集落遺跡です。縄文時代前期の土器は野口式土器と命名され、九州各地で出土しています。
8	うらしま 大島遺跡	弥生時代	久留米藩士矢野一貞が著した『筑後将士軍談』には、銅剣が出土したとあります。発掘調査では溝や土坑が見つかりました。
9	おぐろ 於黒遺跡	古代	つぎ 坏や埴などの土師器が出土しています。
10	しんぶ 新婦遺跡	弥生時代 ～古墳時代	弥生時代前期の土坑や古墳時代中期の竪穴住居を発見しました。
11	くりばやし 栗林遺跡	不明	土師器などの遺物が散布しています。
12	きたくりばやし 北栗林古墳	古墳時代	詳しいことはわかりませんが、円墳と思われます。
13	べつとうやま 別当山遺跡	古代・中世	古代の集落跡と思われます。また、「別当」という地名から、寺院に関連する館の可能性が考えられます。
14	別当山古墳	古墳時代	円墳があったと言われていますが、現存しません。
15	やまかわまえだ 山川前田遺跡	平安時代 鎌倉時代	平安時代の終わりから鎌倉時代にかけての溝や土坑が見つかりました。
16	あしきざか 阿志岐坂遺跡	古代～中世	土師器や青磁が採集されています。
17	おうじやま 王子山遺跡	古代	土師器が散布しています。
18	王子山古墳	古墳時代	円墳だったと言われていますが、現存しません。
19	つるがじょう 鶴ヶ城古墳	古墳時代	円墳だったと言われていますが、現存しません。
20	きょうづか 鶴ヶ城経塚	古代	石組の中から、陶製経筒3本が出土しました。
21	しょうもんじ 松門寺遺跡	不明	遺物が散布していると言われています。

22	やまかわみちほんむら 山川南本村 遺跡	弥生時代 ～鎌倉時代	弥生時代から鎌倉時代にかけての複合遺跡です。多数の 竪穴住居や掘立柱建物、土壌墓が見つかりました。
23	ほんむら 本村古墳	古墳時代	円墳があったと言われていますが、現存しません。
24	じょう まえ 城の前遺跡	不明	遺物が散布していると言われています。
25	城の前古墳	古墳時代	剣や槍が出土したと伝えられています。
26	どう やしき 堂屋敷遺跡	不明	土師器が散布していると言われています。
27	たけ こ 竹の子古墳	古墳時代	円墳と思われませんが、詳しいことは分かりません。
28	じょうたに 城谷遺跡	鎌倉時代	土師器などの遺物が散布しています。
29	城谷古墳	古墳時代	石室とみられる、2個の巨石が露出していました。
30	ななまがりやま 七曲山古墳群	古墳時代	放光寺浄水場建設に伴い発掘調査が行われた、5世紀前 半の円墳4基と方墳1基からなる古墳群です。
31	つる が じょうやまじろあと 鶴ヶ城山城跡	中世	くるわ とるい ほりきり 曲輪や土塁、堀切が残ります。
32	ふるほうでんやまじろあと 古宝殿山城跡	中世	尾根に曲輪が残っています。
33	よし み だけじょうあと 吉見岳城跡	中世	からぼり 曲輪や空濠、土塁、犬走りが良く残っています。豊臣秀 吉が九州平定の際に陣を置きました。
34	にしだにか そう ぼく 西谷火葬墓群	奈良時代 ～平安時代	古代の火葬墓群で、火葬した骨を納めた蔵骨器が出土し ました。
35	だいら ばる 太郎原遺跡	古墳時代	古墳時代の集落遺跡です。5世紀前半の初期須恵器が出 土しました。
36	山本郡条里	古代	古代の区画整理の跡が良く残っています。

■ 山川校区の指定文化財

	遺跡の名前	指示区分	こんな文化財です
A	あんこく じ かめかん ぼく 安国寺甕棺墓群	国史跡	弥生時代中期の北部九州を代表する甕棺墓群で す。土壌墓や祭祀遺構も見つかっています。
B	もくそうしゃ か にょらい ざ そう 木造釈迦如来坐像	県有形文化財 (彫刻)	安国寺の前身である方法寺に伝来した、建長6年 (1254) に造られた仏像です。
C	み のうだんそう 水縄断層	国天然記念物	天武7年(678)に起こった筑紫大地震の震源と 思われる断層です。
D	どうらんばち 動乱蜂	県無形民俗 文化財	江戸時代から王子若宮八幡宮に伝わる神事で、久 留米三大火祭りの一つです。
E	こう こいし 高良山神籠石	国史跡	西日本各地に残る「神籠石式山城」の一つです。
F	み い ぐん やまもとぐんくわいじょう 御井郡・山本郡郡界標	市有形民俗 文化財	元禄8年(1695)に旧御井郡と旧山本郡との境 界に建てられました。

■ 山川校区の歴史年表

時代	西暦	山川校区のできごと	日本のできごと
旧石器	10000	安国寺遺跡・野口遺跡が旧石器人の狩場となる	狩りや漁・採集などで生活する
			土器や弓矢を使い始める
縄文	6500	安国寺遺跡で押型文土器が使われる	現在の日本列島がほぼできあがる
	3500	野口遺跡で集落が営まれる	
弥生	400	山川南本村遺跡で集落が営まれ始める 安国寺甕棺墓群が形成される	稲作が伝わる
	B.C A.D 300		倭国大乱 卑弥呼が邪馬台国を治める 古墳がつくられはじめる
古墳	400	七曲山古墳群などの古墳が築かれる	磐井の乱 (527) 仏教公伝
	600	新婦遺跡・太郎原遺跡で集落が営まれる	
飛鳥	700	水縄断層によって筑紫大地震が起こる (678)	乙巳の変 (645) 大化の改新 白村江の戦い (663)
奈良			藤原京に都を遷す (694) 平城京に都を遷す (710)
平安	800	西谷火葬墓群が形成される	平安京に都を遷す (794)
	1000		
鎌倉	1200	神代遺跡・渡屋敷遺跡に神代館が築かれる	鎌倉幕府の成立 (1190頃)
室町	1400	木造釈迦如来坐像が作られる (1254)	元寇 (1274・1281) 室町幕府の成立 (1336)
		鶴ヶ城・古宝殿城・吉見岳城が築かれる	筑後川の戦い (1359) 応仁の乱 (1467) 豊臣秀吉の九州平定 (1586~1587)
江戸	1600	御井郡・山本郡郡界標が建てられる (1695)	江戸幕府の成立 (1603) 有島豊氏が久留米に入封 (1621)
	1900	神代橋が架けられる 山川村を久留米市に編入する (1951)	明治維新 (1868) 久留米市市制施行 (1889)

久留米の断層と地震痕跡

久留米市役所や鎮西橋など、遠くから山川校区を眺めると、耳納山地の切り立った山々が見えます。その麓にある山川校区周辺には、追分断層をはじめ、何本もの断層が走っています。地表には、地震痕跡が残る場所があるほか、これらの地震痕跡の周辺に残る文化財も見どころです。



みのう ④ 付近の現況

C. 国指定天然記念物 水縄断層

山川前田遺跡で見つかった断層の露頭で、地割れから出土した土器から、『日本書紀』天武7年(678)12月に起きた筑紫大地震による断層であることが明らかになりました。調査後は埋め戻して保存しています。

おすすめ見学ポイント

- ① 久留米市役所からの眺望
 - ② 鎮西橋からの眺望
 - ③ 山本町豊田からの眺望
 - ④ 水縄断層案内板
 - ⑤ 高良大社
 - ⑥ 久留米大学前駅
 - a 朝妻・千本杉断層の起点
 - b 千本杉断層崖
 - c 筑後国府跡案内板(朝妻断層付近)
 - d 中谷川屈折地点南側(横ずれ部分)
- おすすめ見学ルート — 活断層

1:25,000 久留米



山川校区の文化財マップ



国指定史跡

あんこくじかめかんぼぐん

A. 安国寺甕棺墓群

62基の甕棺墓が見つかった、筑後地方の代表的な甕棺墓群です。甕棺墓の周りには丹塗土器が出土した祭祀土坑があり、弥生人の祭礼の様子がうかがえます。



県指定有形文化財

もくぞうしゃかによらいざぞう

B. 木造釈迦如来坐像

安国寺の前身である、万法寺に伝来した仏像です。銘から、建長6年(1254)に作られたことが分かっています。鎌倉時代に造られた仏像は、筑後地方でもわずしか残っておらず、当時の仏像の特徴を残す貴重な文化財です。



どうらんばち

D. 県指定無形民俗文化財 動乱蜂

おうじわかみやちはちまんぐう

王子若宮八幡宮の神事で、悪疫退散や五穀豊穰を祈願して、毎年9月15日に行われます。竹に詰められた仕掛け花火が一斉に飛び回る光景は圧巻です。



こうらさんこうごいし

E. 国指定史跡 高良山神籠石

高良山を囲むように並ぶ列石で、「神籠石式山城」の代表的な遺跡です。高良山の北側にも列石があったと言われていたようですが、現在は残っていません。





くましろ 5. 神代の渡し跡

大正時代まで渡し船があった場所です。文永11年(1274)の文永の役(元寇)の際に、地元の豪族である神代氏が船を使って浮橋を築き、味方を渡したと伝えられています。



だいろばる 35. 太郎原遺跡

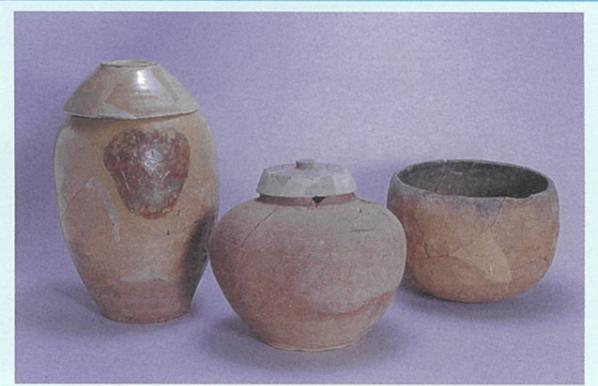
古墳時代の集落遺跡です。5世紀前半の竪穴住居からは、カマドが見つかったほか、日本で作られ始めたばかりの初期須恵器が出土しました。



市指定有形民俗文化財

F. 山本郡・御井郡郡界標

山本郡と御井郡の境を示す石碑です。元禄8年(1695)、久留米城下町から豊後国に通じる山辺道に立てた記録が残っています。



にしたにかそうぼぐん 34. 西谷火葬墓群

久留米森林つつじ公園の駐車場付近で見つかった、奈良時代から平安時代にかけてのお墓です。高良山の山岳仏教との関連が指摘されています。

出土した石器

野口式土器

のぐち 7. 野口遺跡

旧石器時代から縄文時代にかけての遺跡です。大量の縄文土器や石器が出土しており、特に縄文時代前期の土器は、「野口式土器」の名で知られ、縄文時代前期の九州を代表する土器です。

凡例

	埋蔵文化財包蔵地		神社
	山本郡条里の範囲		石碑
	古墳群の範囲		エビス像
	今も残る古墳		石仏
	現存しない古墳		石祠
	山城跡		お堂
	指定文化財		古道
	高良山神籠石		断層
	校区の範囲		バス停

■ 久留米市埋蔵文化財センターのご案内

久留米市埋蔵文化財センターは、久留米市内の遺跡から出土した土器や陶面・写真などの記録を収録・整理・研究するため、平成6年4月に開館しました。

センターでは、考古資料の貸し出しや文化財に関する相談に応じています。また様々な展示会を開催し、合わせて体験学習や出前講座も行っています。お気軽にお越しください。



開館時間：9時00分

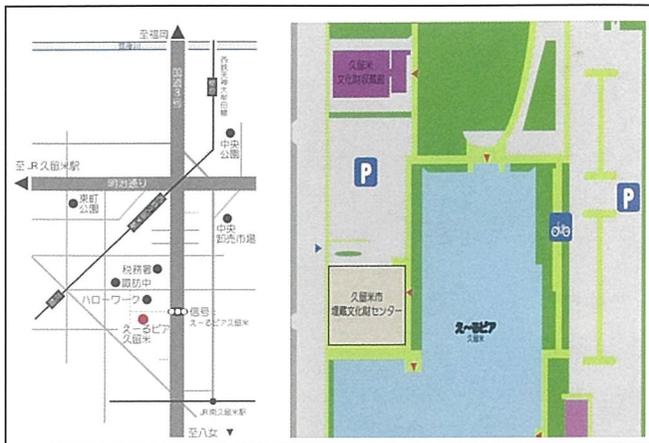
～17時00分

休館日：土曜日・日祝日

(展示期間中は無休になることがあります)

年末年始

入館料：無料



[文化財に関するお問い合わせ]

久留米市市民文化部文化財保護課

福岡県久留米市城南町 15-3

電話 0942-30-9225 FAX 0942-30-9714

e-mail : bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp

久留米市埋蔵文化財センター

福岡県久留米市諏訪野町 1830-6 (えーるピア敷地内)

電話 0942-34-4995 FAX 0942-34-5045

山川校区の文化財マップ

平成29年3月31日

発行：久留米市教育委員会

編集：久留米市市民文化部

文化財保護課

印刷：永松印刷

久留米市中央町20-22

協力：山川校区郷土研究会